

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月3日

上場会社名 大日本住友製薬株式会社

上場取引所 東大

コード番号 4506 URL <http://www.ds-pharma.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 正世

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション部長 (氏名) 樋口 敦子

TEL 06-6203-1407

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	203,751	0.9	31,984	16.1	31,806	11.8	21,152	23.8
21年3月期第3四半期	201,908	—	27,545	—	28,447	—	17,088	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	53.24	—
21年3月期第3四半期	43.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	667,145	338,597	50.8	852.21
21年3月期	391,294	324,495	82.9	816.49

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 338,597百万円 21年3月期 324,408百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
22年3月期	—	9.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	295,000	11.7	31,000	△0.5	29,000	△7.6	19,000	△4.9	47.82

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 3社 (社名 Dainippon Sumitomo Pharma America Holdings, Inc. Aptiom, Inc.) 除外 1社 (社名 Sepracor Inc.)

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	397,900,154株	21年3月期	397,900,154株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	583,660株	21年3月期	580,814株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	397,317,635株	21年3月期第3四半期	397,375,816株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件等につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は2,037億51百万円（前年同四半期比0.9%増）となりました。なお、本年度から「総合業績改善プロジェクト」を実施し、全部門を挙げて一層の経費削減に努め、営業利益は319億84百万円（前年同四半期比16.1%増）、経常利益は318億6百万円（前年同四半期比11.8%増）、四半期純利益は211億52百万円（前年同四半期比23.8%増）となりました。

事業の種類別セグメントの状況をみますと、医薬品事業では、最主力品である高血圧症・狭心症治療薬「アムロジン」は減収となりましたが、消化管運動機能改善剤「ガスモチン」、末梢循環改善剤「プロレナル」、高血圧症治療剤「アバプロ」、統合失調症治療剤「ロナセン」や深在性真菌症治療剤「アムビゾーム」等の売上高が増加したことに加え、当連結会計年度より連結の範囲に加えた住友製薬（蘇州）有限公司の寄与等があり、売上高は1,586億75百万円（前年同四半期比0.3%増）となりました。利益面では、研究開発費や広告宣伝費をはじめとする諸経費の削減が図られたこと等により、営業利益は298億23百万円（前年同四半期比13.1%増）となりました。

その他の事業では、動物用医薬品、飼料・飼料添加物、食品添加物、工業薬品、診断用薬、研究検査用資材等の販売を行っておりますが、本年度はインフルエンザ診断薬の販売が好調なこと等により、売上高は450億75百万円（前年同四半期比3.1%増）、営業利益は21億61百万円（前年同四半期比84.4%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産等の状況に関する分析

・資産の部

平成21年10月のセプラコール社買収に伴い、当第3四半期連結会計期間末からセプラコール社を含む米国子会社を新たに連結の範囲に加えたことにより、総資産は前連結会計年度末に比べ、2,758億50百万円増加し、6,671億45百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ、売掛金、有価証券等を中心に612億30百万円増加し、3,247億70百万円となりました。固定資産はセプラコール社買収に伴う特許権やのれんの計上による無形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ2,146億20百万円増加し、3,423億75百万円となりました。

・負債の部

セプラコール社買収資金の借入等により、前連結会計年度末に比べ2,617億49百万円増加し、3,285億48百万円となりました。

・純資産の部

四半期純利益による利益剰余金の増加が配当金の支払額等を上回り、前連結会計年度末に比べ141億1百万円増加し、3,385億97百万円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は50.8%となりました。

セプラコール社買収に伴う企業結合会計の処理

セプラコール社買収に伴う資産等の評価および会計処理は以下のとおりです。なお、取得原価の資産配分は、現時点では暫定的な金額であります。

資産等の評価内容	取得原価 配分前	取得原価 配分後	(百万ドル未満四捨五入)
			会計処理(償却方法)
特許権	—	1,208	品目毎に償却年数を設定
仕掛研究開発(無形固定資産)	—	57	資産計上(承認取得後償却)
たな卸資産	67	146	販売時に売上原価計上
上記に対する繰延税金負債	—	△489	
その他の資産・負債(純額)	661	721	
のれん	26	864	償却年数20年
合計	754	2,506	

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の連結業績予想は以下のとおりです。平成21年10月29日に公表しました業績予想を修正しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	264,000	29,000	27,000	18,000	45 30
今回発表予想 (B)	295,000	31,000	29,000	19,000	47 82
増減額 (B-A)	31,000	2,000	2,000	1,000	
増減率 (%)	11.7	6.9	7.4	5.6	
前期実績	264,037	31,166	31,395	19,987	50 30

セプラコール社を含む米国子会社を新たに連結の範囲に加えたことにより、米国子会社の平成21年10月～12月の業績が第4四半期連結会計期間に合算されることとなります。

まず、米国子会社の新規連結に伴う影響を含まない従来ベースの業績は、医薬品事業の売上増加、販売費及び一般管理費の減少などにより、売上高で25億円、営業利益で30億円、経常利益で35億円、当期純利益で20億円、前回予想をそれぞれ上回る見込みです。

また、セプラコール社買収に伴う企業結合会計処理を行う前の米国子会社の業績は、売上高は285億円、営業利益100億円、経常利益95億円、当期純利益60億円となる見込みです。

一方、セプラコール社買収に伴う特許権やのれんの償却額等の影響が、営業利益および経常利益で110億円、当期純利益で70億円ある見込みです。

これらのことから、平成22年3月期連結業績予想は、平成21年10月29日の公表値に対し、売上高は310億円増の2,950億円、営業利益は20億円増の310億円、経常利益は20億円増の290億円、当期純利益は10億円増の190億円を見込んでおります。

※なお、本日付で個別業績予想の修正を行っております。詳しくは、本日発表しました「平成22年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

平成21年10月にセプラコール社を買収したことに伴い、当第3四半期連結会計期間より以下の会社を連結の範囲に含めており、連結貸借対照表に各会社の貸借対照表が含まれております。

・特定子会社(3社)：

Dainippon Sumitomo Pharma America Holdings, Inc.

Aptiom, Inc. ※

Sepracor Inc.

・その他の連結子会社(8社)：

Dainippon Sumitomo Pharma America, Inc.

Sepracor Inc. の連結子会社7社

※Aptiom, Inc. はセプラコール社買収のため設立された買収子会社であります。当第3四半期連結会計期間後の平成21年10月20日にセプラコール社に吸収合併され、消滅しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

・たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間に係る実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

・繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

・税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・企業結合に関する会計基準等の適用

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分)および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)が平成21年4月1日以後開始する連結会計年度において最初に実施される企業結合および事業分離等から適用できることになったことに伴い、

当第3四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,223	21,990
受取手形及び売掛金	104,543	79,759
有価証券	64,547	34,500
商品及び製品	49,175	39,674
仕掛品	3,332	2,934
原材料及び貯蔵品	15,172	11,901
短期貸付金	25,000	50,000
その他	48,951	23,174
貸倒引当金	△176	△394
流動資産合計	324,770	263,539
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	88,416	83,820
減価償却累計額及び減損損失累計額	△45,678	△44,329
建物及び構築物(純額)	42,737	39,490
機械装置及び運搬具	74,770	70,438
減価償却累計額及び減損損失累計額	△61,276	△59,390
機械装置及び運搬具(純額)	13,493	11,048
土地	10,329	9,975
建設仮勘定	1,857	4,024
その他	26,846	24,586
減価償却累計額及び減損損失累計額	△21,127	△20,021
その他(純額)	5,719	4,565
有形固定資産合計	74,136	69,104
無形固定資産		
のれん	77,515	—
特許権	108,420	—
その他	12,031	6,407
無形固定資産合計	197,967	6,407
投資その他の資産		
投資有価証券	53,380	33,982
その他	17,002	18,362
貸倒引当金	△111	△102
投資その他の資産合計	70,271	52,242
固定資産合計	342,375	127,754
資産合計	667,145	391,294

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,192	18,523
短期借入金	177,500	—
1年内償還予定の社債	25,856	—
1年内返済予定の長期借入金	300	—
未払法人税等	5,695	6,298
賞与引当金	3,984	8,120
返品調整引当金	2,500	96
売上割戻引当金	17,645	412
その他	54,653	19,897
流動負債合計	307,328	53,349
固定負債		
長期借入金	600	—
退職給付引当金	9,684	9,253
役員退職慰労引当金	48	42
その他	10,887	4,153
固定負債合計	21,219	13,449
負債合計	328,548	66,799
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,400	22,400
資本剰余金	15,860	15,860
利益剰余金	294,892	281,628
自己株式	△645	△643
株主資本合計	332,506	319,245
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,273	5,162
繰延ヘッジ損益	23	—
為替換算調整勘定	△206	—
評価・換算差額等合計	6,090	5,162
少数株主持分	—	87
純資産合計	338,597	324,495
負債純資産合計	667,145	391,294

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	201,908	203,751
売上原価	78,893	79,105
売上総利益	123,015	124,645
返品調整引当金戻入額	26	29
差引売上総利益	123,041	124,675
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	99	24
給料	12,432	13,073
賞与引当金繰入額	2,602	2,575
役員退職慰労引当金繰入額	7	9
研究開発費	38,311	35,668
その他	42,042	41,338
販売費及び一般管理費合計	95,496	92,690
営業利益	27,545	31,984
営業外収益		
受取利息	750	471
受取配当金	734	590
受取保険金	249	—
その他	881	834
営業外収益合計	2,616	1,896
営業外費用		
支払利息	76	439
寄付金	1,074	1,082
その他	563	553
営業外費用合計	1,714	2,075
経常利益	28,447	31,806
税金等調整前四半期純利益	28,447	31,806
法人税等	11,349	10,647
少数株主利益	8	6
四半期純利益	17,088	21,152

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	28,447	31,806
減価償却費	8,436	8,364
退職給付引当金の増減額(△は減少)	309	1,165
その他の引当金の増減額(△は減少)	△4,156	△4,177
受取利息及び受取配当金	△1,485	△1,062
支払利息	76	439
売上債権の増減額(△は増加)	△1,425	△8,646
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,771	317
仕入債務の増減額(△は減少)	2,843	704
その他	△431	1,841
小計	29,842	30,753
利息及び配当金の受取額	1,378	1,309
利息の支払額	△36	△17
法人税等の支払額	△18,575	△11,615
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,607	20,430
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000	—
定期預金の払戻による収入	3,000	5,000
有価証券の取得による支出	△1,001	—
有価証券の売却による収入	1,000	—
有価証券の償還による収入	—	2,000
有形固定資産の取得による支出	△12,201	△3,853
無形固定資産の取得による支出	△2,761	△750
投資有価証券の取得による支出	△3,919	△384
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△200,649
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△7,000	25,000
その他	△47	△217
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,930	△173,856
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	176,900
長期借入金の返済による支出	△4,600	—
自己株式の純増減額(△は増加)	△83	△2
配当金の支払額	△7,140	△7,139
少数株主への配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,824	169,757
現金及び現金同等物に係る換算差額	45	△81
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△23,101	16,250
現金及び現金同等物の期首残高	56,259	49,481
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	1,454
現金及び現金同等物の四半期末残高	33,157	67,186

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	医薬品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	158,184	43,724	201,908	—	201,908
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	158,184	43,724	201,908	—	201,908
営業利益	26,373	1,172	27,545	—	27,545

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	医薬品 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	158,675	45,075	203,751	—	203,751
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	158,675	45,075	203,751	—	203,751
営業利益	29,823	2,161	31,984	—	31,984

(注) 1 事業区分は、製品の種類と当社グループの内部管理上の事業区分に基づいて「医薬品」および「その他」にセグメンテーションしております。

2 各事業の主な製商品

事業区分	主な製商品
医薬品	医療用医薬品
その他	動物用医薬品、飼料・飼料添加物、食品添加物、診断用薬等

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

在外連結子会社および重要な在外支店がありませんので、所在地別セグメント情報を記載しておりません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

I 海外売上高(百万円)	14,743
II 連結売上高(百万円)	201,908
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	7.3

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

I 海外売上高(百万円)	16,095
II 連結売上高(百万円)	203,751
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	7.9

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。